

ネパールの果てまでイッテQ!

実践教科：総合的な学習の時間、学活、道徳
対象学年：小学校3年生 対象人数：24人

広島市立
東浄小学校
佐藤 由佳

●担当教科●
全教科

実践の目的

- ・ネパール独特の暮らしや文化を通して、自分とは異なるものを理解し、尊重する気持ちを持つ。
- ・ネパールの子ども達のために活躍する大人を通して、国際協力を知り、自分にもできることはないか考える。
- ・ネパールについての学習を通して、募金や寄付など直接的支援の他にもできる支援があることを知る。
- ・ネパールについての学習を通して、視野を広げ、世界の国や文化・人に興味関心を持つ。

授業の構成

時限	テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1	(事前学習1) 「ネパールって どんなところ?」	1) ネパールに対するイメージを出し合う 2) ネパールとネパール子どもを紹介する 本を読む 3) ネパールで先生にしてほしい事(ミッ ション)を考える	・本 ・インターネット ・ワークシート
2	(事前学習2) 「ぼくたちのことを 伝えよう」	1) ネパールの子ども達へのプレゼント (メッセージカード・折鶴)を作る 2) 班ごとに分かれての東浄小学校紹介 ファイルを作る	・デジタルカメラ (学校紹介用)
4	ネパールの果てまでイッ テQ! 「ネパールって どんなところ?」 ●ネパールの食べ物やお 金、自然に興味関心を 持つ。	1) ネパールの子ども達にプレゼントや紹 介ファイルが届いたことを知る 2) みんなからのミッションの結果を知る 3) エベレストのゴミ問題について考える 4) 感想を書く	・パワーポイント ・ネパールのお金 ・エベレストの写 真
5 ・ 6	「ネパールの 当たり前を知ろう」 ●異文化に触れる。自 分と異なるものを理解す る。	1) ミッションの結果を知る 2) 先生が現地で驚いたことをアルバムか ら探す 3) ネパールの人が毎日することを考える 4) 同じティカ同士で集まるゲームをする 5) ティカの意味を知る 6) 自分と違うものに出会ったらどうする か考える 7) 感想を書く	・パワーポイント ・写真アルバム ・クルタ(民族衣 装) ・ネパールの子ど もの一日のスケ ジュール表 ・ティカ

7	「ぼくたちの 当たり前を見直そう」 ●自文化を見つめなおし、 その良さや大切さに気づく。	1) 知っている祝日について話す 2) 道徳資料「祝日って何?」を読んで話し合う 3) 「日本人として恥ずかしい」と感じたネパールでの教師の体験談を聞く 5) 日本の文化や伝統を考える	・写真 ・動画
8 ・ 9	「学校に行くって 当たり前?」 ●学校の様子、学校に行けない子どもがいることを知る。当たり前に学校に行けることは当たり前でないことに気づく。	1) 道徳資料「日本の学校 世界の学校」を読んで話し合う 2) ネパールの学校の様子を知る 3) 学校に行かないはどうなるのかを考える 4) 働かなければならなくて学校に行けない子どもがいることを知る 5) 感想を書く	・パワーポイント ・現地の教科書とノート ・ネパール数字表 ・ネパール語で書かれた紙 ・水(砂糖 塩 粉末飲料) ・DVD
10 ・ 11	「子どもでも 応援できるかな。」 ●国際協力の様子を知り、自分でもできることがないか考える。	1) 学校に行けない他の原因について話し合う 2) 学校に行けない子どものため支援する大人を知る 3) 子どもでも支援できるかを議論する 4) セヴァンスズキさんのスピーチを鑑賞する 5) 感想を書く	・パワーポイント ・ふせん A3用紙 ・スピーチ動画
12	「たくさん 勉強してきたね!」 ●知ることも立派な応援(国際協力)だと気づく。	1) セヴァンスズキさんのスピーチを振り返る 2) 再度子どもでも支援できるかを議論する 3) 国際協力を勉強してきた教師の話を聞く 4) これまで学習したことを振り返り、学習を通してたくさん考えてきた自分に気付く 5) 感想をまとめる	・パワーポイント ・振り返りシート

この授業に注目!

⑤・⑥眼目 ネパールの当たり前を知ろう

ねらい: 自分とは異なった文化を知り、それを認める。

①ミッションの結果やいかに!

ミッション1 「ネパールの町を見てきて。写真をとってきて」

⇒アルバムの中から先生がピックリしたこと4つ探してみよう! (班で3分)

お寺みたいなところにハトがいっぱいいることがな
牛が道路を歩いていることじゃない?
あ、見て! テパートみたいなところがある!



教師作成のアルバム

②ネパールで先生が驚いたことを知ろう。



(1) 伝統衣装のクルタ

…日本でいうと着物のようなものだけど、日常で着ることはないよね。でも、こんなおしゃれな伝統衣装を普通に着ていたからビックリしました。ですが、着物に比べて華やかで着やすいしとっても涼しかったから、毎日でも大丈夫だなって思いました。



(写真A)

(2) 川の中に入が！

…これはみんなビックリしていたね。先生もビックリしました。川でこの人は水浴びをしていました。だけど、実はこの川、ただの川ではなくて「バクマティ川」という神聖な川だったのです。水浴びをすると、神様からパワーをいただけるんですって。

写真Aもバクマティ川で撮りました。何を焼いているでしょう。実は亡くなった人ーその人の灰を川に流すんだそうです。そうすることで神様の元に返ることができるのです。

最初はビックリしたけれど、意味を知って、先生はなるほどと感心・納得しました。



(写真B)

(3) 信号が…！

…3つ目にビックリしたのは信号です。いくつか信号機がありましたが、ランプが点いていませんでした。「点けなくて大丈夫？！」と思いましたが、点かないのには理由がありました。

ネパールではよく停電があって、ほとんど毎日起きるそうです。点いたとしても、いきなり停電になって消えてしまったら、それこそ大事故になってしまうから、最初から点けないのだそうです。でも、その代わりに街のいたる交差点に警察の人が立っていて、手信号で車やバイクを誘導していました（写真B）。信号のランプは点いているものと思っていたから最初はビックリしたけれど、意味が分かって、その上ネパールの人達の工夫が分かって、すごいな！と思いました。

4つ目は、残念ながら写真には撮ってこられなかったので、ビデオを観て考えて下さい。

(4) 朝から夜まで○○の音！ ⇒正解：クラクション

…ネパールに着いて、一番にビックリしたことでした。ビデオ観ている時に、鳴る度ピクッと驚いていた人もいたね。先生も同じように驚きました。先生のお父さんは、渋滞で前に進んでほしい時によくクラクションを鳴らしていました。だから、「ネパールの人はせっかちが多いな。そんなに急がせなくてもいいのに…うるさい！」なんて思って、クラクションの音を聞く度に嫌な気持ちがしました。ですが、ネパールの人は、「これから車を動かしますよ。気をつけてね」と周りの歩行者や運転する人へお知らせする合図でクラクションを鳴らすのだそうです。実は周りの人への思いやりの合図だったのです。それが分かったら、あれだけ嫌だったクラクションの音がすっかり気にならなくなりました。

☆アルバムを見て、それぞれみんなもビックリしたことがあるかと思います。ですが、きっとそれにも意味があるのでしょうね。

③ネパールの人が毎日していることって何だろう？

ミッション2 「朝から夜の中で必ずやることが知りたい！」

⇒みんなは毎日何をかならずやってていますか。



朝6時から7時半までのところが（ ）になっているね
お風呂？ でも1時間半も入らないよね
朝ごはん？ だけど、8時半から朝食で書いているよ
テレビ？ 着替え？ ジョギング？ さんぽ？

ヒント①



②



③



④ 参拝をしている様子を撮ったビデオ

お祭り？

…正解は、「おまいり」！

プリンシーちゃんのように、ネパールの人は毎朝必ずお参りをしに行っていました。

私達だったら、お正月とか大切な時にしか行かないよね。どうしてネパールの人はそうではなく毎日お参りに行っていると思いますか？きっと神様やご先祖様に「今日一日が安全に、何事もなく過ごせますように」とお願ひごとをしているのでしょうか。

④おでこの赤い点って何？

ミッション3 「おでこに点がある理由を教えて！」

たしかにアルバムにもティカを点けている人が写っていたね。



この赤い点を
「ティカ」と言います。

・ティカをつけてゲームをしましょう。

＜やり方＞

1. 3種類のティカ（ABC）を子どもに付ける。（A1人 B3人 C残り全員）
2. 制限時間内に同じティカを付けている人同士で集まり、座る。※話すのは禁止
3. それぞれの感想を聞く。

（仲間が見つかった時の気持ち、ちがうと首を振られた時の気持ち、仲間に入れてもらえたなかった時の気持ち）



＜使用したティカ＞



＜活動中の様子＞

ティカにも理由があります。おでこにつけることで神様に守ってもらうことが出来るのだそうです。私達でいうと“お守り”的なもののですね。

☆今みんながついているティカも形はちがうけれど、結局同じ「お守り」で込められた思いは一緒なんだね。今日は写真やビデオ、お話を通してもっと詳しくネパールのことを勉強しました。自分たちの生活や様子とは違ったところもあってピックリしたけれど、意味や理由を聞くと「なるほど」とか「自分と一緒にいる」と思うことが出来たね。クラスの中でも一人一人顔が違うのはもちろん、自分と違うなって思うことってあるよね。そんな時はどうしたらいいのかな。もっと大きい話になるけれど、今回のネパールみたいに国によっても違うことって実はたくさんあるのです。そんな時、みんなだったら仲良くするためにどうしますか。自分の意見を振り返りカードに書きましょう。

…次時へ

児童の反応 振り返りカードより

今日の授業は、(楽しかった)

- ・ティカをつけて、ゲームができたから。
- ・ティカをもらえたから。

(勉強になった)

- ・日本ではお守りだけど、ネパールではティカを付ける事が分かったから。
- ・さいしょは「なぜこんなことをするの？」と分からなかつたけれど、意味を知るとよく分かったから。
- ・私たちとちがう所が知れたから。

所感

まず「自分とは違うけれど、必ずうなずける意味がある」ことを、自身の体験を通して子ども達に伝えたいと考えた。その導入に用いたアルバムだが、「ネパールらしい」と感じる写真、「ここがネパール？！」と予想を裏切りそうな写真、「いったい何これ？」と一見しただけでは分からないような写真を並べたことで、ページをめくる毎に興味を持てるように工夫もしました。授業後は学級文庫に質問や意見を書くふせんと、共に置いているが、今多くの児童が興味を持ってアルバムをめくってくれている。

本時で最も盛り上がったのは、何といってもティカのゲームだ。前時の最後にティカをつけた親子の写真を出した時は、「うわっ、何か付けとる！」と気持ち悪がっていた児童が数名いたのだが、ティカのゲームそしてティカを付ける理由を知ってからは、そのような発言は一切出てこず、ほとんどの児童がその日一日ティカをつけたままにしていた。さらに、他クラスの子から「変なものつけている！」と言われた時に、「これはお守りなんよ。いいでしょう」と外す素振りもなく、そのまま堂々と教室を出ていった児童がいた。この児童は本時のねらいをしっかりと達成できたのではないだろうか。

「ちがう国の人となかよくするためにはどうしたらいいか」最後に振り返りカードに書かせた意見には、「その国のことによく知る」という意見が多く、 「その人のことを大切にする」「その人と自分の違う所だけでなく、同じ所も見つける」と、国単位ではなくて人単位で異文化理解をしたいという意見もあり、嬉しかった。

⑦限目 ぼくたちの当たり前を見直そう

ねらい：自分の文化や伝統に関心をもち、自文化を大切にしようとする気持ちを高める。

①知っている祝日はありますか。

昨日は何の祝日でしたか？⇒「きんろうかんしゃの日」です。

どんな日ですか？ ⇒「働いている人に感謝する日です。」

実は祝日は全部で15こあります。他にはどんな祝日がありますか。

②「祝日って何？」を読んで考えよう。

- ・秋分の日とはどんな日ですか。
- ・たくまには、なぜトムがまぶしく見えたのかな。
⇒日本人のぼくより、くわしく知っているから。

③「日本人として恥ずかしいな」と思った先生自身の話を聞こう。

・みんなはそんな気持ちになったことがありますか。

⇒この話を読んで少しその気持ちになったよ。

実は先生もついこの間、ネパールで「日本人なのに恥ずかしい」と思ったのです。

その1 歌のプレゼントについて

…ある学校にお邪魔した時、学校や地域の人達が歓迎会を開いてくれました。私達はネパールで人気の歌と「上を向いてあるこう」という有名な日本の歌を練習していたので、歓迎してくれたお礼に歌のプレゼントをしました。ネパールの人はとても楽しく聞いてくれて嬉しかったのですが、もっと歌を聞きたいと思ってくれたのか、「今度は民謡を歌って」とリクエストがありました。

民謡というのは古くからその土地で歌い継がれてきた歌のことだったのですが、先生達は全く歌えなかったのです。その時に先生は「日本人なのに恥ずかしい」と思いました。

その2 神様について

…お正月や大切なことがある時、私達はお寺や神社にお参りをしに行きますよね。

ですが、この前も勉強したように、ネパールの人にとってお参りは当たり前のこと。だからお寺の他に、街の中にも道の端にもいろんなところにお参りする仏像や神様の像がありました。

みんなのような子どもでもお供え物をもって毎日お参りしている様子を見て、先生はふと日本のお地蔵様を思い出しました。お地蔵様も神様の像です。昔の日本的人はお地蔵様を大切にしてきたけれど、今のは、そして先生はいつも大切にしているのかなと思いました。毎日毎日神様のお世話をしているネパールの人達とは違って、大事な時だけ神頼みをする日本人の私は恥ずかしい、というより、情けないと思いました。

④日本の文化や伝統にはどんなものがあるのかな。

☆きっと先生と同じように、日本の文化や伝統って意外と知らないという人がいたとおもいます。

みんなで日本の文化や伝統について考えてみよう。

児童の反応

- ・祝日が15こもあるなんて、はじめて知った。
- ・トムは日本に住んでいなかったのに、すごいな。
- ・先生の話を聞いて、ぼくもみんようを聞いたことがなかったからきいてみたい。

所 感

本時では、写真やビデオを多用せず体験談に重きを置いてみた。民謡の話では、共感を持って聞いてくれている児童もいたが、お参りの話はそこまで共感を得られなかった。その事実から、いかにお参りが彼ら（日本人）にとって非日常的なことであることがまず分かった。さらに、日本とネパールは宗教的に似ているという認識が無かったことも共感を得られなかった要因として考えられる。似ているからこそ、お参りの違いが浮き彫りにされやすいのだが、それが出来なかつたのが残念である。異文化理解が大切なのは然り、自文化理解も行うことの大切さも学べた時間となった。

8・9限目 学校に行くって当たり前？

ねらい：学校に行けないことで出てくる事実に気付き、学校へ行けない子どもに寄り添う。

①道徳資料「日本の学校　世界の学校」

国によって学校生活にも違いがあるんだ！

②ネパールの学校を知ろう！



太鼓のチャイム



「ダンデュビ」が人気！



レンガづくりの教室だ！

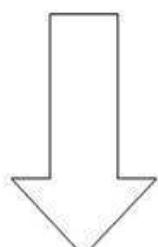
おもしろい！
ほくたちの学校と
ぜんぜんちがうね！

③ネパールの小学生は？



あ！みんな同じ服を着ているよ！
制服を着て学校に行っているんだね。

あれ？この子たちは制服を着ていないよ。
お休み？もしかして学校に行ってないのかな…



④学校に行かなかったらどうなるんだろう？

<派生図で班の人と意見の出し合い>



派生図



活動中の様子

頭が悪くなる



分からなくなる
(全員の意見)

⑤分からないってどんな気持ちなのかな。

<活動1>ネパール数字の足し算の答えは？

<活動2>ネパール語で水・薬・毒と各々書かれたコップの水を飲む。（水・砂糖水・塩水を用意）

$$\begin{array}{r} 9 \\ + 8 \\ \hline \end{array}$$
$$\begin{array}{r} 5 \\ + 8 \\ \hline \end{array}$$
$$\begin{array}{r} 14 \\ + 10 \\ \hline \end{array}$$
$$\begin{array}{r} 15 \\ + 7 \\ \hline \end{array}$$

<活動1>



<活動2>

何て買ひとるん？

⑥「5人に1人」はたらいで学校に行けない子どもがいるよ。

DVD「世界がもし100人の村だったら」を観賞する。

ネパールに住むスニータちゃん：「死ぬまではたらき続ける奴隸少女」



<静かに鑑賞中>

鑑賞後…

★日本に住んでいる私たちとは、全く違う過ごし方をしているね。この間のティカやお参りの時と同じように、スニータちゃんみたいに働いて学校に行けない子どものことも今、分かったと思うけれど、「分かったね、ハイおしまい！」でいいのかな・・・

⑦先生はこんな子どもに出会ったよ。

ハリー・ポッターが好き！という10歳の女の子。家事手伝いの仕事をしている。+

10歳なのに、はたらいているんだ。
でも制服着て、勉強しているよ！
じゃあ学校に行っているんじゃないの？



次時へ→

児童の反応

- ネパールの学校の様子…ほかの国の子のちがう所が見つけられたから勉強になった。
学校に行かない子がいることが分かった。
ちがう国の人々の過ごし方が知らなかつたけれど、分かってよかった。
国によって生活がちがい、人によって生活がちがう。
- ネパール数字で足し算…外国の数字がちがつた。
数字は同じかと思ったら、ちがつてビックリした。
- 水・薬・毒のカップ活動…学校に行かなかつたら字も読めないからあぶないと思った。
- スニータちゃんのDVD…少しかなしかつた。
スニータちゃんはずつとお金をはらうのでかわいそうです。
はたらく子・学校に行ける子・行けない子がいるんだと思った。
仕事をさせられても、家族のためにたらいていたので感動した。
スニータちゃんにもし会つたら、お手伝いしたい。
どれいにさせられるのを見てかわいそうだと思った。

所 感

前々時、ティカや毎朝のお参りなどネパールの独特的な暮らしや文化の紹介を通して、「本当の意味を知つたら変だと思わなくなつた。意味を知るのは大切。」と、児童は異なるものを理解し・受け入れることの大切さに気づいた。しかし、理解だけに留まらず、「もっとその事について知りたい」という意欲、さらに「自分にできることをしたい」という気持ちも育てたかったため、子どもにとって身近でもっと知りたくなるような問題、また理解するだけでは解決に至らないような問題として、「学校に通えない子ども」を設定し、本時の学習を進めた。

本時では、“理解し受け入れることが大切だ”の思考で止まる児童に、「本当に理解するだけいいのか」と搖さぶりをかけたかった。そのために、まずは学校に行けない理由と行けなくて生じる問題をしっかりとと考え、実感できる活動に重点を置いた。最後にスニータちゃんのDVDを観賞した。さほど歳の変わらない女の子が、家族の借金のために一日中休みなく働いていることに児童は感動する一方で、スニータちゃんが「学校に行きたい」とつぶやく場面では静まり返るほど、熱心にスニータちゃんに寄り添おうとしていた。

観賞直後、「スニータちゃんみたいな人もいるんだね。ネパールではそうだから、しょうがないね。みんなは日本に生まれてよかったね。」とわざと言ってみると、皆、一様に眉をしかめて首を

横に振った。言葉に出さずとも、「ネパールだからという問題ではない。このままではいけない！」という気持ちが、彼らの真剣な眼差しから伝わってきた。「もっと知りたい」と問題に向き合えるようにするために、そこまでに問題へいかに寄り添えるか・身近な問題として考えられるかが重要であると感じた学習であった。

全体を通しての成果と課題

「ネパールの果てまでイッテQ！」とタイトルをつけ、某番組のように“ミッション”を遂行するという要素を取り入れ、全ての学習を一連の流れに乗せて行ったことで、児童は最後まで意欲的に学習に臨むことができた。さらに“〇〇君からのミッション”などと児童の名前を出したことで、より学習を身近に感じてくれ、「自分のミッションはいつ出るのか」と次の学習を心待ちしてくれた。また、ミッションが良い導入に使えたので、3年生には重たい問題でも取り上げることができ、児童も自然な流れで思考を深めることができた。しかし、このミッションにとらわれすぎたために、伝えたい事の取捨選択に時間がかかり、授業構想の段階からなかなか実践に進めなかつた。時間的な限りが出た結果、深められず表面的なものになってしまった。その上、一方的に教師が伝える時間が多かった、各時間の最後に書く振り返りシートの質問に不備があり、児童の深い感想を引き出すことができなかつたことも反省である。学習の見通しを計画的に行うことを行ふことを今後の課題としたい。

学習の成果としては、ネパールをきっかけに世界にも興味を持つようになった児童が出てきた事が挙げられる。学級文庫に置いていた世界に関する本の読まれる頻度が、以前に比べ高くなつた。中でも一番嬉しかったのは、学校に行けない世界の子ども達の本を地域の図書館で借りて、次の日みんなにも読んでほしいと学校を持ってきてくれた児童が出た事だ。児童の興味関心がネパールだけに留まらず、他の国、世界の子ども達の様子、さらには難しい問題にまで広がつていた。

本実践では、「知ることも立派な応援（国際協力）」と締めくくつた。児童から募金や寄付など直接的な応援も出たが、「行動で満足してほしくない。もっと色々な見方をしながら、じっくりと深く問題に向き合ってほしい。その上で行動に移して欲しい。」との思いがあったからだ。直接的支援=応援と思っていた彼らには、肩透かしを食らった気分になったかもしれない。だが、何人かの児童が最後の感想に「もっと世界のことについて勉強したい。」「平和な世界にするために勉強をがんばる。」と記述していた。彼らのこれから可能性に期待したい。

「世界の子ども達のことをもっと知りたい。みんなを笑顔にしたい。」小学生の時、スニータちゃんの番組を観て私もそう思った。そのために自分ができる事を今も模索しているが、参加させていただいたこの研修を通して、世界の事を日本の子ども達に伝える・一緒に考えることこそ今できるのではないかと感じた。今回学習の中で見えてくれた児童のキラキラした眼差しや意欲をパワーにして、引き続き国際理解教育の勉強に励みたい。

参考資料

【書籍】

- ・国際協力機構青年海外協力隊「クロスロード」2008年5月号
- ・渡辺眞著（1986）「世界の子どもたち10 ネパール モヒタ夢の旅」偕成社
- ・セヴァン カリス=スズキ著（2003）「あなたが世界を変える日」学陽書房

【映像資料】

- ・フジテレビ「世界がもしも100人の村だったら ディレクターズエディション」DVD
- ・「12歳の少女 “伝説のスピーチ”～セヴァン・スズキ～」

http://cgi4.nhk.or.jp/eco-channel/jp/movie/play.cgi?movie=j_future_20101011_0650

ミッショ n の内容

4 時間目

- ネパールの食べ物が知りたい… (8人)
 - ・めずらしい物を食べてきて下さい
 - ・日本と似た食べ物があったら教えて下さい
- ネパールのお金が見てみたい… (1人)
- エベレストの写真をとってきて！登ってきて！… (9人)

5・6 時間目

- 町の様子を見てきて！写真をとってきて！… (5人)
- 一日の中で必ずすることが知りたい… (1人)
- おでこに点がある理由を教えて… (1人)

8・9 時間目

- どの教科がすきか調べてきて… (1人)
- 小学生の写真をとってきて！… (1人)
- ネパールで一番きれいだった場所を見つけてきて下さい… (1人)

ネバールアンケート

月 日 名前 _____

①さとう先生がネバールへ行くと知った時…

今の気持ちに近いもの 3 つに○

うれしい	かなしい	楽しみ
うらやましい	ぼく・わたし	こわい
するい	どうでもいい	()

その理由は、

②モヒタちゃんの本を読んで（感そう）

③さとう先生にネバールでやって来てほしいことがあれば書いて下さい